



オンライン 思春期セミナー

2026年5月開催！

講演内容

第1回 5月17日（日）13:00～15:30

「語られない心を運んでくるもの

～思春期の心理療法におけるサブカルチャーの臨床的意味～」

思春期のクライエントは、言葉にならない感情や葛藤を、アニメ・漫画・ゲームなどのサブカルチャー作品に託して面接室に持ち込むことがあります。本研修では、「思春期心性」や「サブカルチャーは心の避難所であり翻訳装置である」「作品は心的経験の仮置き場となる」という考え方を手がかりに、作品がどのように治療関係の中に持ち込まれ、語りを可能にしていくのかを検討します。作品理解や解釈に回収するのではなく、面接場面で治療者がどの位置に立ち、どの程度関与することが臨床的に有効なのかということも具体的に考えていきたいと思います。

第2回 5月31日（日）13:00～15:30

「もう一つの思春期空間——SNSでつながる心とその危うさ」

SNSは、現代の思春期にとって「常に誰かに見られている」関係空間であり、安心と不安が同時に生じやすい場となっています。本研修では、「思春期は関係の濃度に敏感な時期である」という視点をもとに、SNS上の交流が自己感覚や対人関係に与える影響を臨床的に整理します。トラブル対応やリスク管理にとどまらず、治療者がSNS体験をどのように聴き取り、現実関係との往復を支えることができるのかを検討します。いいね・既読・炎上といった出来事を心理的経験として捉え直し、支えとなる場合と、自己像を揺さぶる負荷となる場合の違いについても考えていきたいと思います。

セミナー構造

企画・司会進行：サポチル関東研修担当

中岡裕美（児童精神科）・中島良二（福祉）・村田朱美（総合病院小児科）

ご講演を受けて企画者の臨床現場の経験から質問や連想を提示し、テーマを広げて受講者とのディスカッションにつなぎます。

申込み概要

定員数：50名程度

対象者：臨床心理士、公認心理師、医師、それに準ずる専門家、大学院生

子どもの支援や相談に関わる仕事に従事する方（教員、保育士、社会福祉士、保健師等）

受講料：6,000円（一般） 5,000円（サポチル会員）

オンライン開催：ZOOM

申込締切：2026年4月30日（木）

※ 本研修は規定を満たした場合に臨床心理士資格認定協会のワークショップ（第2条・4項）ポイント対象となります。

※ 申し込みは、チラシ表面のURL、もしくはQRコードよりお申込みください

※ 受講料振込後に受講者側の理由でキャンセルする場合、いかなる理由でも返金は致しかねます。